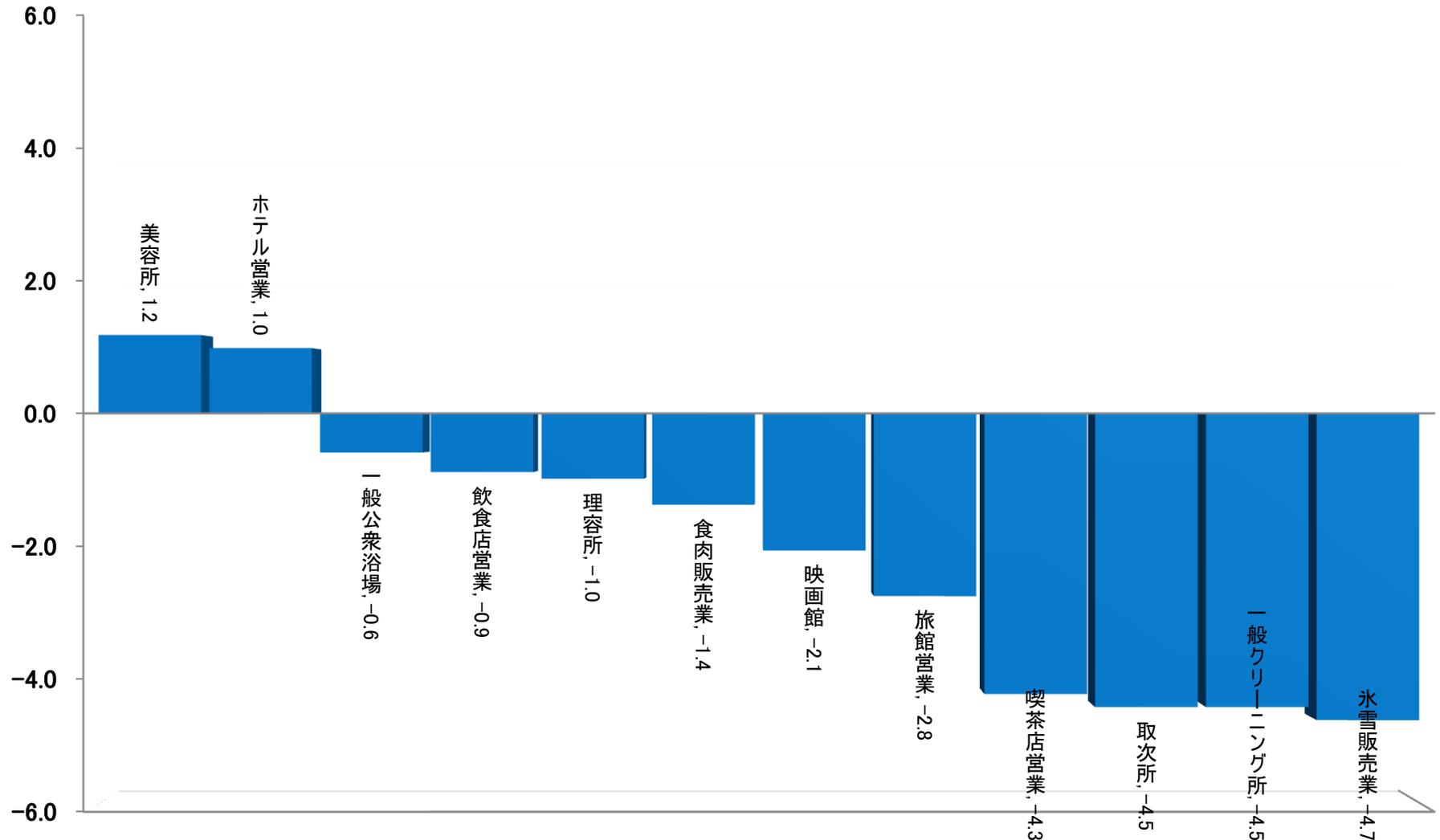
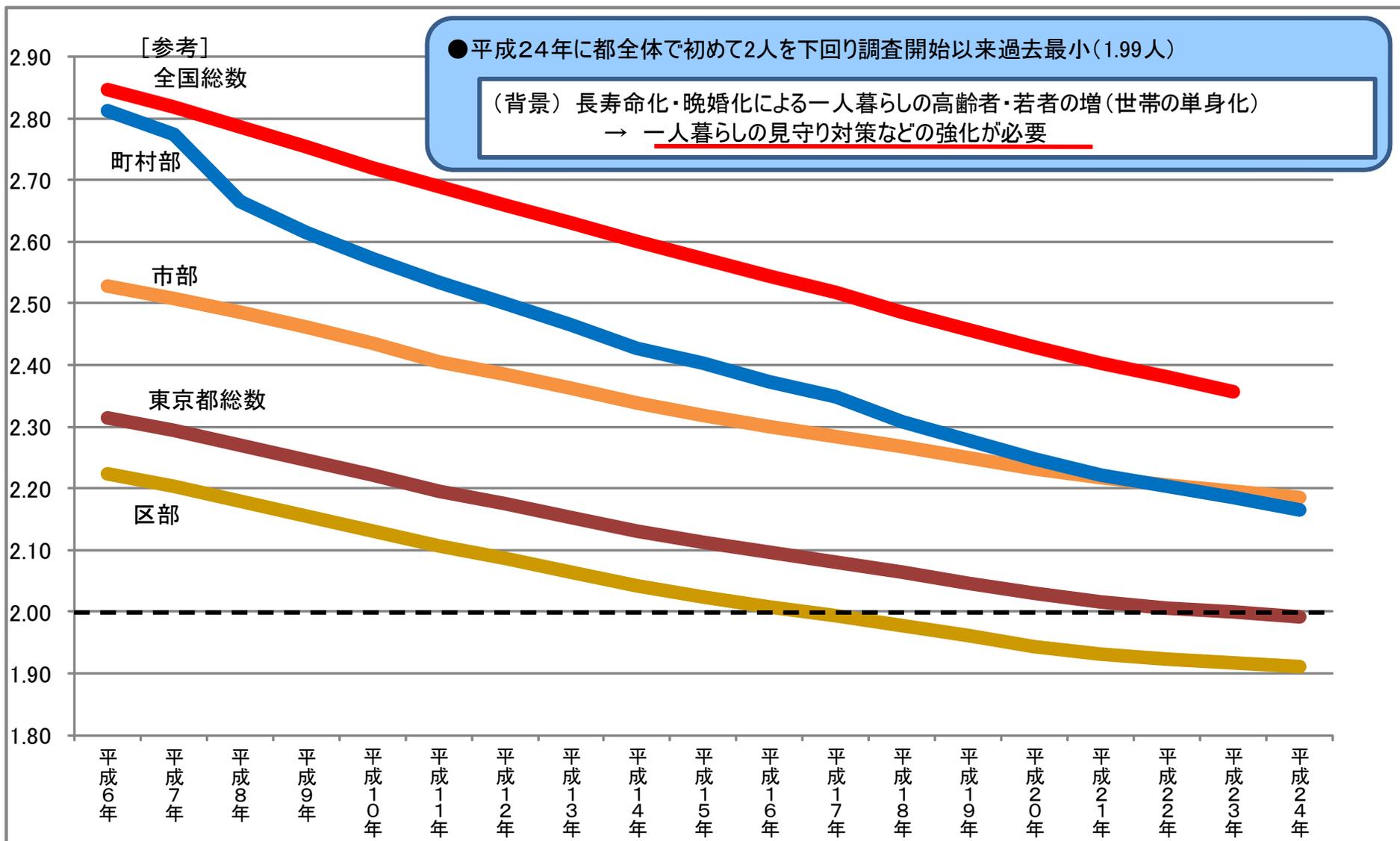


生活衛生関係営業の現状と課題 (追加)

主な生活衛生関係施設数の対前年度増減率（平成22年度） （宮城県・福島県を除く）



東京都の一世帯当たりの人員の推移（1月1日現在）

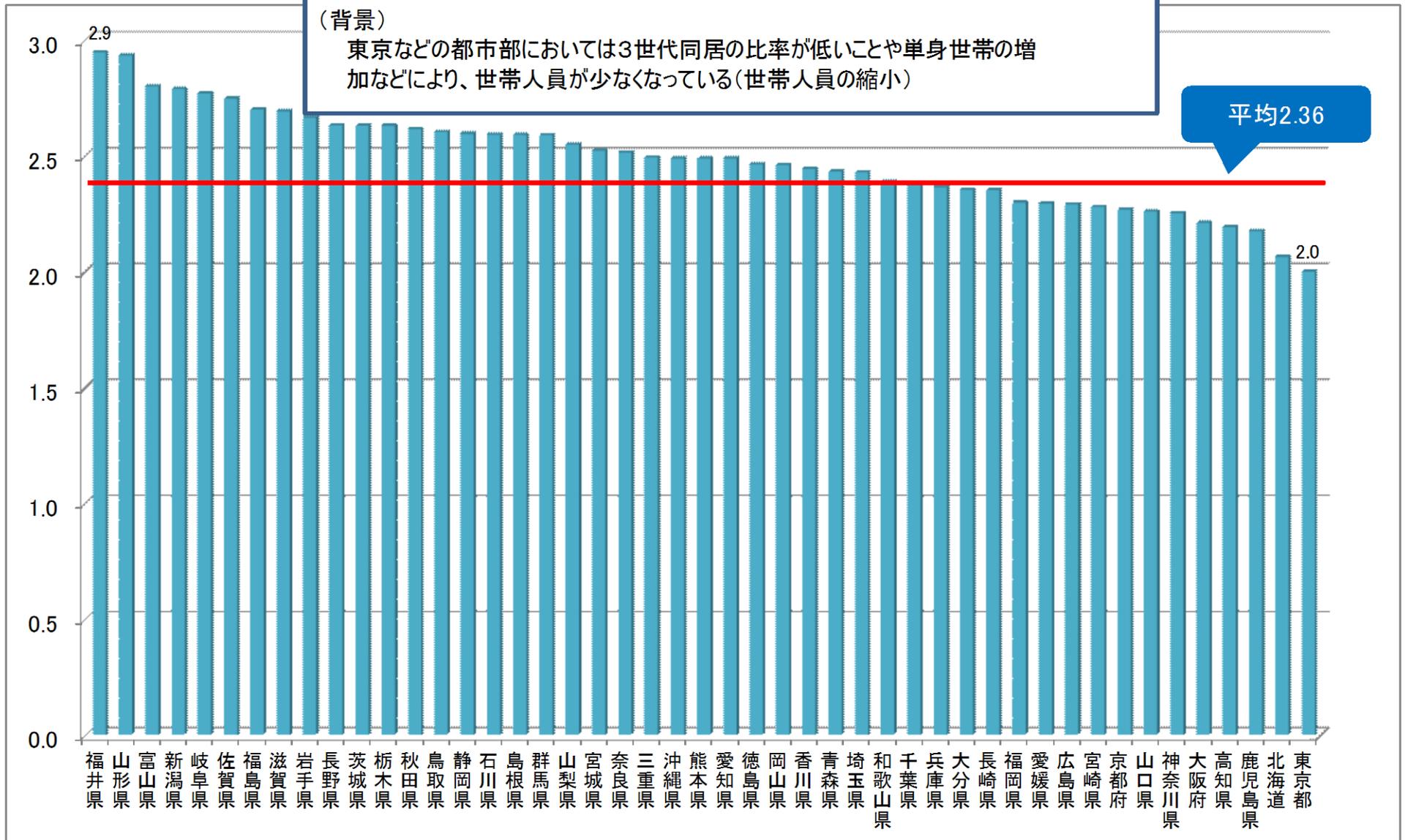


※全国総数は3月31日現在

(出典) 東京都総務局統計部人口統計課「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」

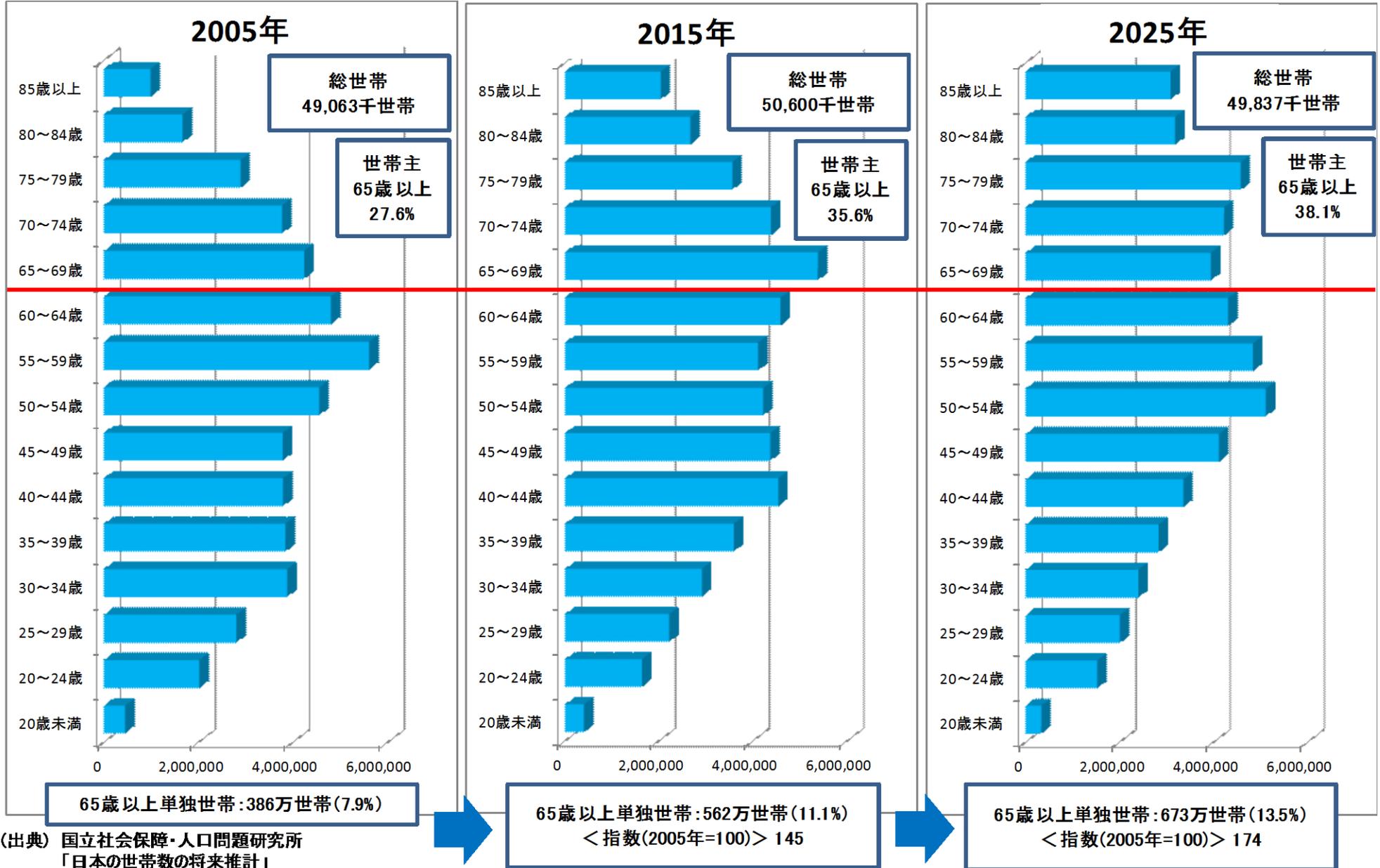
総務省統計局「住民基本台帳人口・世帯数」

平成22年度 一世帯当たりの人員（平成23年3月31日現在）



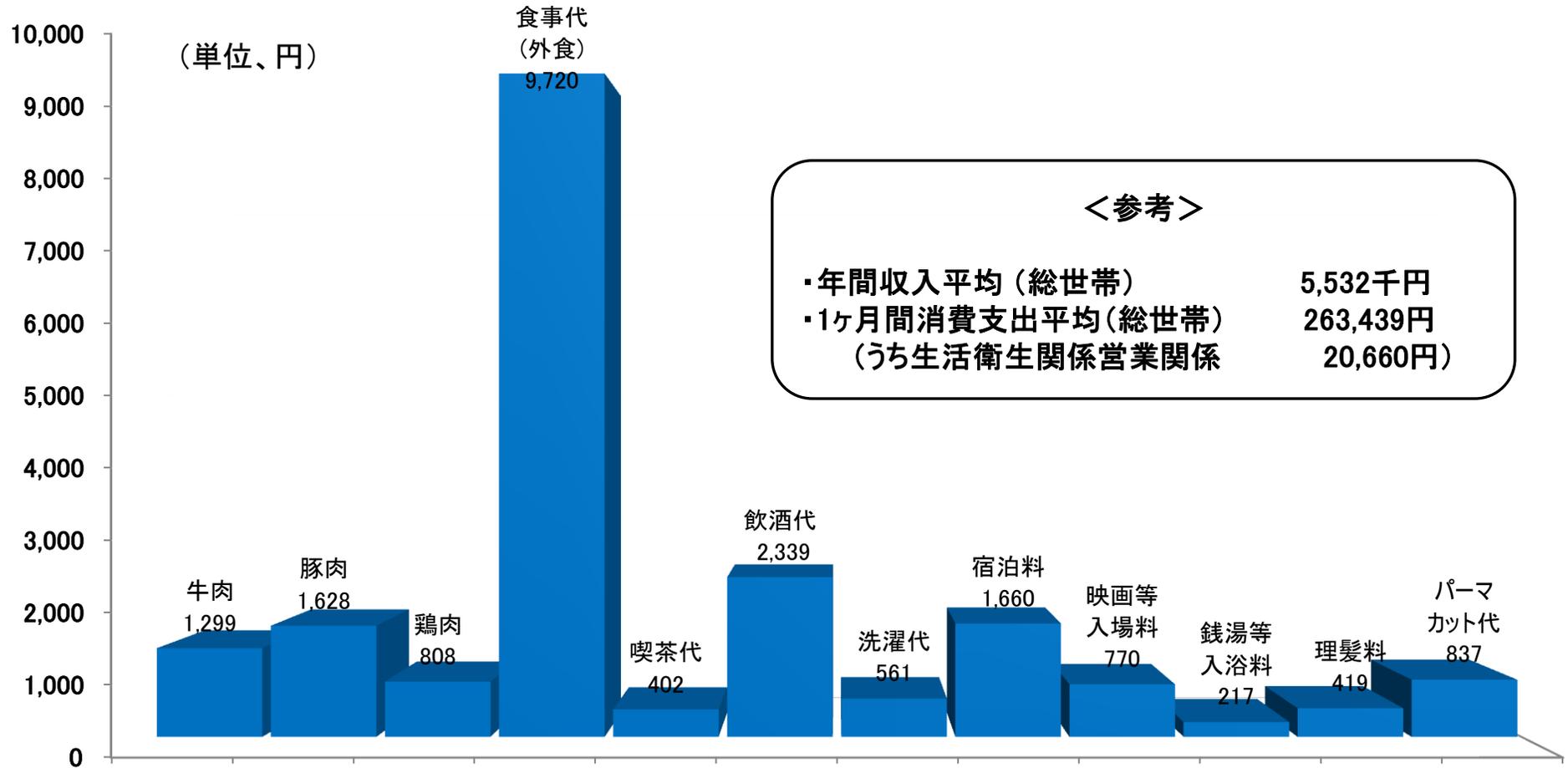
(出典) 総務省統計局「平成23年住民基本台帳人口・世帯数、平成22年度人口動態(都道府県別)」

日本の世帯数の将来推計（2009年12月推計）



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の世帯数の将来推計」

『全国消費実態調査』による主な生活衛生関係営業関係の支出額 (平成21年、1世帯あたり1ヶ月間の支出)



(出典) 総務省「平成21年全国消費実態調査報告」

※食事代: 日本そば・うどん・中華そば・スパゲティ・和食・洋食・中華料理・パン・サンドイッチ等の外食、ファーストフード等の飲食代、仕出し料理、宅配のピザパイ、給食センター、会社での食事代、給料日払いの弁当代、食事を目的とした会費

※喫茶代: 飲物(酒類は除く。)菓子及び果物の外食

※飲酒代: 飲酒代及びこれに伴う料理代。飲酒を目的とした諸会費も含む。

コンビニ、スーパー、チェーンストアと生活衛生関係営業の「強み」と「弱み」

厚生労働省健康局生活衛生課

地域で身近な業種

コンビニエンスストア 

スーパーマーケット 

外食産業(※)
(チェーンストア) 

生活衛生関係営業 

(参考) その他の主な地域で身近な業種 

事業所数

44千店	経済産業省「平成19年商業統計」
4.1店	1中学校区あたり

56千店	経済産業省「平成19年商業統計」
5.2店	1中学校区あたり

35千店	(社)日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」を加工
3.2店	1中学校区あたり
(うち ファーストフード1.5店)	

1,146千店	総務省「平成21年経済センサス」
(うち 飲食店596千店 喫茶店77千店)	
105.5店	1中学校区あたり
(うち 飲食店54.9店 喫茶店7.1店)	

種別	事業所数	1中学校区あたり
商店街	13千箇所	1.2箇所

従業者数

649千人	経済産業省「平成19年商業統計」
--------------	------------------

436千人	経済産業省「平成19年商業統計」
--------------	------------------

884千人	(社)日本フードサービス協会
--------------	----------------

6,667千人	総務省「平成21年経済センサス」
(うち 飲食店4,070千人 喫茶店351千人)	

飲食店	596千店	54.9店
美容業	176千店	16.2店
理容業	112千店	10.3店
喫茶店	77千店	7.1店
クリーニング業	73千店	6.7店
菓子・パン小売業	71千店	6.5店
婦人・子供服小売業	71千店	6.5店
不動産代理業・仲介業	55千店	5.1店
酒小売業	52千店	4.8店
野菜・果実小売業	26千店	2.4店
花・植木小売業	25千店	2.3店
男子服小売業	22千店	2.0店
鮮魚小売業	21千店	1.9店
食肉販売業	21千店	1.9店
米穀類小売業	17千店	1.6店
自転車小売業	15千店	1.4店
ドラッグストア	12千店	1.1店
牛乳小売業	9千店	0.8店
豆腐等小売業	9千店	0.8店
一般公衆浴場	4千店	0.4店

経営特質 (強み)

- 年中無休24時間営業
- 高利便性(高立地)、高機能性
- チェーン本部による指導・企画商品
- 売れ筋情報に基づく厳選した品揃え、定価販売
- 20~40代男性、中食(おにぎり・弁当)に強み
- 高いブランドイメージとFC(フランチャイズ)方式による集中的出店
- 食品や日用品・雑誌を主体、生鮮食品は限定的、金融(ATM・公共料金)・チケット
- 廉価均一販売を行う新形態の店舗開発

- 住宅地の駅前等に立地
- 豊富な品揃え(生鮮食品(鮮魚・精肉)や日用品といった消費財から、衣料品・家電まで)
- チラシ特売
- 中食(惣菜)に強み
- 独自商品(PB(プライベートブランド))の開発・販売
- 大量仕入れによる調達・物流コスト削減と低価格商品提供
- 深夜営業やネットスーパーを行う新形態の店舗開発

- 駅前や交差点角地など集客力のある立地
- できたてを短時間で提供(商品の質とサービスの質の両面を確保)
- 高いブランドイメージとFC(フランチャイズ)方式による集中的出店
- 店舗オペレーションの効率化・省力化
- チェーン本部による指導・企画商品
- ドライブスルー、24時間営業の店舗導入

- 住宅街近くの商店街等に立地
- 地域密着型営業
- 対面販売・顔なじみ
- 長年築いた厚い顧客基盤
- 主婦・シニア層に強み
- 独自の手間(技術)とこだわり
- 高付加価値商品の提供
- 適量・小分けでの販売
- 高い品質(サービス)、鮮度が良い

経営課題 (弱み)

- 寡占化(M&Aによる再編)、飽和化
- 主婦・シニア層の支持が弱い
- 少子高齢化への対応
- 業態を越えた競争が激化
- 健康志向(高カロリー弁当への懸念)
- 客単価の低下傾向
- 多様化する顧客のライフスタイル

- 直営方式が多いため、投資コストの低減が課題
- 立地条件の良いコンビニエンスストアとの競合
- 専門店の台頭、ネットとの競合
- 衣料品の低迷
- 安売り競争(客単価の下落)

- 高まる健康志向・スローフード潮流
- 急速な出店拡大による店舗間競合
- 賃料負担、人材確保
- 少子高齢化による客数の減少

- 大規模チェーン店などの出店攻勢による競争激化
- 零細な個人(家族)経営
- 営業者の高齢化、後継者確保難
- 市場の成熟
- 顧客の低価格志向の拡がり
- 営業時間が限られている(深夜営業への対応が難しい)

※ファーストフード、ファミリーレストラン、パブレストラン・居酒屋、ディナーレストラン、喫茶等

平成21年度商店街実態調査による商店街の概要

商店街タイプ	近隣型商店街	地域型商店街	広域型商店街	超広域型商店街
商店街タイプ 構成比率	57.4%	30.9%	5.3%	2.0%
定義	最寄品(※1)中心の商店街で 地元主婦が日用品を徒歩又 は自転車などにより買物を行う 商店街	最寄品及び買回り品(※2)が 混在する商店街で、近隣型商 店街よりもやや広い範囲である ことから、徒歩、自転車、バス 等で来街する商店街	百貨店、量販店を含む大型店 があり、最寄品より買回り品が 多い商店街	百貨店、量販店を含む大型店 があり、有名専門店、高級専 門店を中心に構成され、遠距 離から来街する商店街
1商店街あたりの 平均店舗数	44.2	58.7	76.7	89.8
1商店街あたりの 平均チェーン店舗数	5.6	7.4	15.6	15.7
1商店街あたりの 飲食店比率	28.0%	25.2%	29.2%	32.1%
1商店街あたりの サービス店比率 (※3)	14.9%	12.8%	12.1%	8.6%
主な商店街 (※4)	<ul style="list-style-type: none"> ・新長田地区商店街 (274店,兵庫県) ・スマイル瓢箪山 (240店,大阪府) ・湯浅町内商店街 (207店,和歌山県) ・京都三条会商店街 (175店,京都府) 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸越銀座商店街 (400店,東京都) ・田辺市内商店街 (328店,和歌山県) ・武蔵小山商店街 (227店,東京都) ・高田本町商店街 (210店,新潟県) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき駅前商店街 (664店,福島県) ・表町商店街 (400店,岡山県) ・松山中央商店街 (360店,愛媛県) ・長崎浜んまち商店街 (300店,長崎県) 	<ul style="list-style-type: none"> ・元町エスエス会 (203店,神奈川県) ・天神橋三丁目商店街 (164店,大阪府) ・京都錦市場商店街 (126店,京都府)

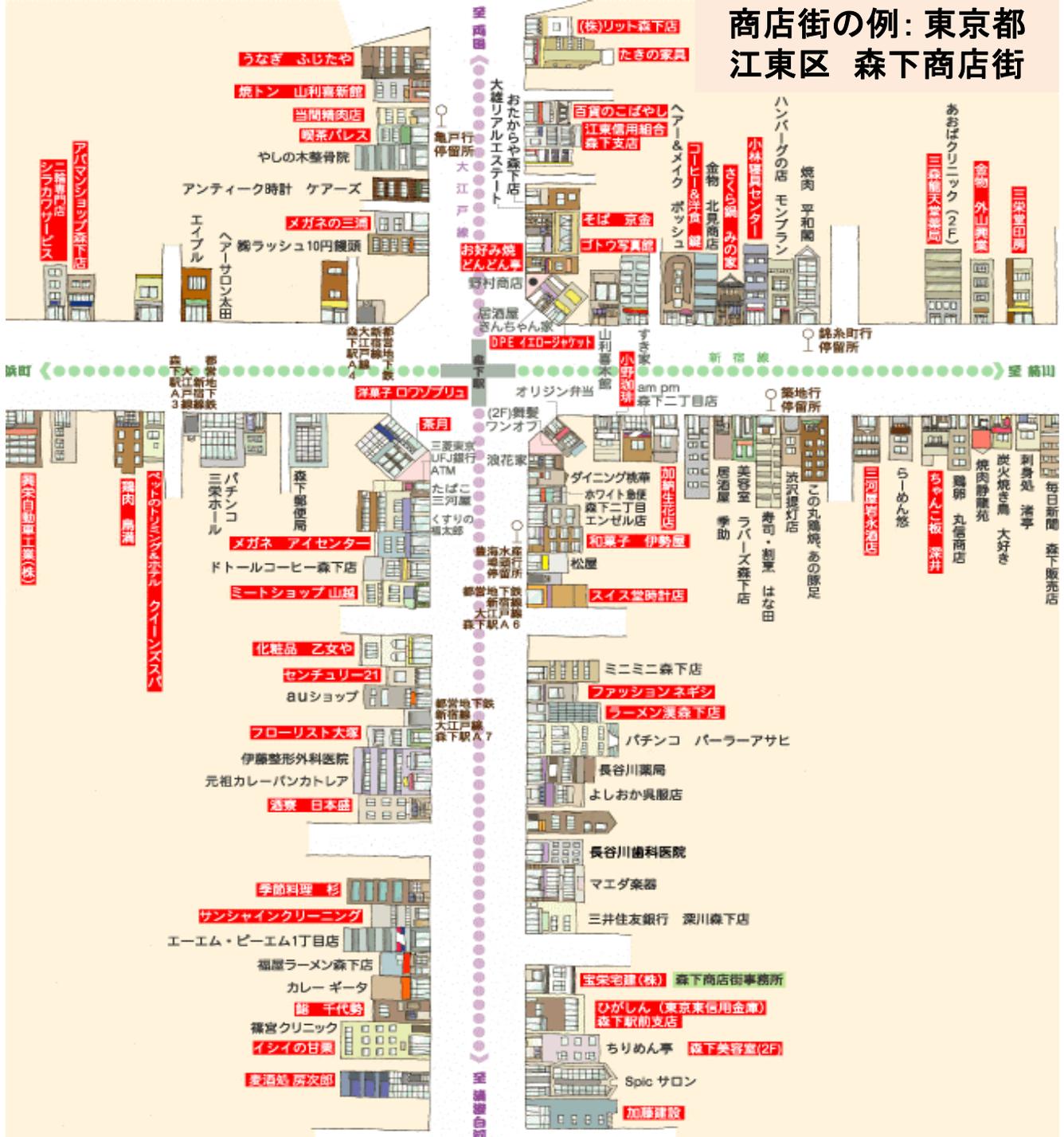
※1 消費者が頻繁に手軽にほとんど比較しないで購入する物品。加工食品、家庭雑貨など。最寄品小売店(生鮮食品・日配食品店、コンビニ、スーパーマーケット等)

※2 消費者が2つ以上の店を回って比べて購入する商品。ファッション関連、家具、家電など。買回り品小売店(百貨店・大型ディスカウント店、衣料品、身の回り品店等)

※3 クリーニング店、パチンコ店、美容院等

※4 中小企業庁(2006)「がんばる商店街77選」、中小企業庁(2009)「新・がんばる商店街77選」による

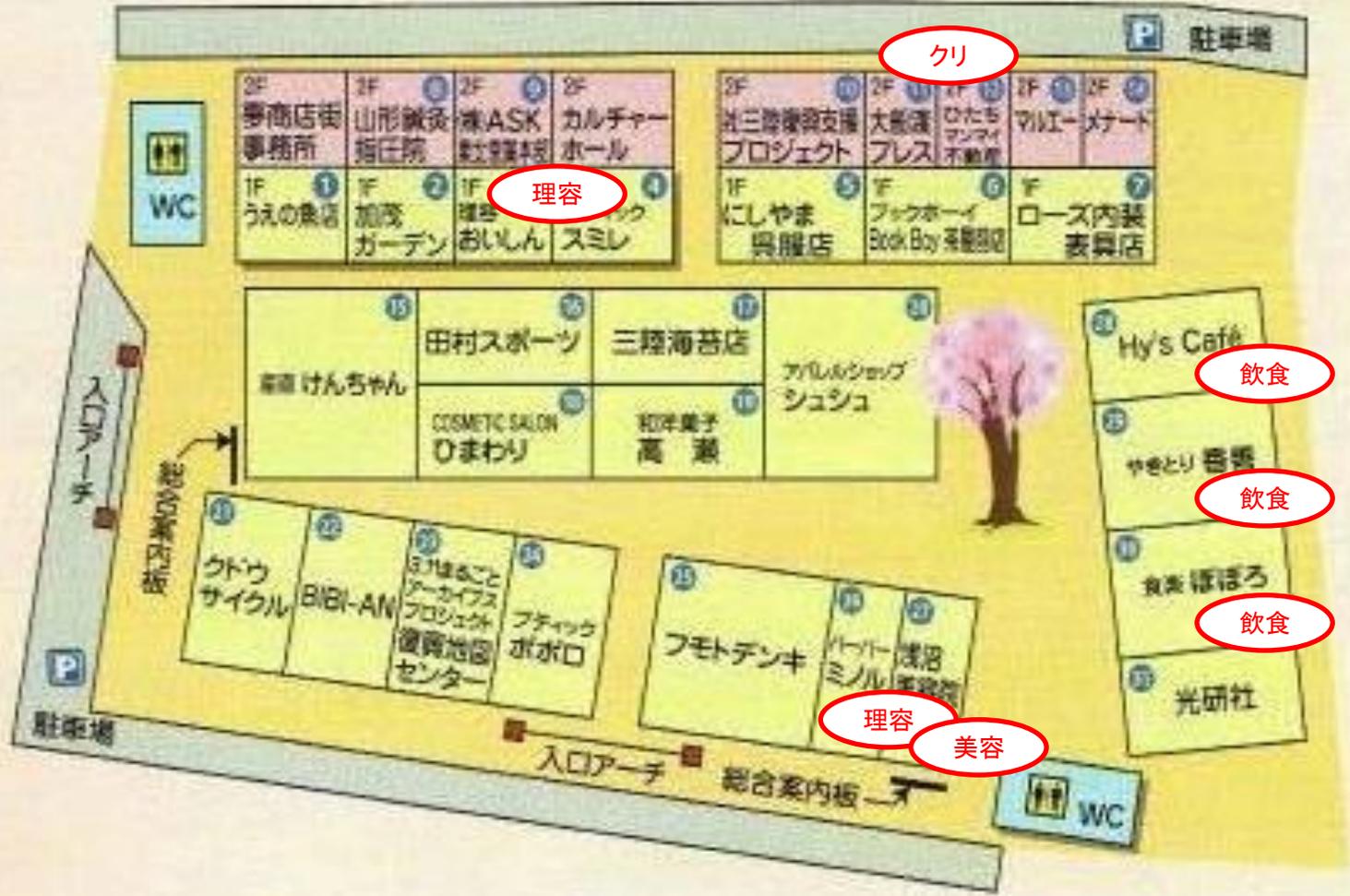
商店街の例：東京都 江東区 森下商店街



構成 (商店街資料を基に厚生労働省にて集計)	108店
飲食店	34
不動産仲介業	8
医療業	8
美容業	6
喫茶店	5
時計・眼鏡小売業	4
コンビニエンスストア	3
銀行業	3
ドラッグストア	3
理容業	2
食肉販売業	2
花・植木小売業	2
クリーニング業	1
食鳥肉販売業	1
菓子・パン小売業	1
呉服・寝具小売業	1
酒小売業	1
紳士服	1
自転車小売業	1
印刷業	1
家具小売業	1
パチンコホール	1
その他	18

商店街の例：岩手県大船渡市の仮設復興商店街

おおふなと夢商店街店舗案内図



構成 (厚生労働省において集計)	30店
飲食店	3
美容室	1
理容室	2
喫茶店	0
クリーニング	1
菓子パン	1
婦人服店	4
不動産屋	1
酒屋	
野菜果物	1
花	1
紳士服	
魚屋	1
肉屋	
米屋	
自転車屋	1
薬屋	
牛乳屋	
豆腐屋	
公衆浴場	
電気店	1
化粧品店	2
文房具屋	1
寝具店	1
スポーツ用品	1
海苔・茶	1
本屋	1
障子・内装	1
鍼灸	1
宝飾・釣具	1
保険	1

(近隣に、飲食店を中心とした大船渡屋台村(20店で構成)がある。)